

外国人労働力活躍推進研究会の取組

＜外国人労働力活躍推進研究会 実施の背景＞

- ・我が国の人手不足が深刻化する中、外国人が日本の経済社会の担い手となっている
- ・我が国の産業及び経済並びに地域社会を共に支える一員として外国人の適正な受入れを図る必要が出てきた
- ・日本で働く外国人が能力を最大限に発揮できる多様性に富んだ活力ある社会を実現する

技能実習制度の見直し

特定技能制度の見直し

物流業界としての
(協会・団体)取組み

- ・現行の技能実習制度は廃止して人材確保と人材育成を目的とする新たな制度の創設
- 未熟練労働者を一定の専門性や技能を有するレベルまで育成
- 実態(人手不足対応)に即した制度への抜本的な見直しを検討

- ・特定技能制度は制度の適正化を図り引き続き活用する方向で検討
- 指導監督体制や支援体制の整備などを引き続き議論

- ・技能実習、特定技能制度の見直しに対応した物流業界の動向調査(全ト協、日倉協、国交省、他)

＜2023年度 委員会の取組項目＞

- ・労働力確保策としての技能実習制度・特定技能制度の見直しに関する情報収集、対応方法の勉強会など(制度見直しの有識者会議の提言は2023年秋口とされており、実質的に下期からの活動となる)
- ・技能実習、特定技能制度における物流業種追加活動→他業界の取組をヒヤリングし、物流業界への展開を目指す
- ・物流業種追加後をにらみ、国内外で実施できる物流基礎教育のカリキュラム内容を検討する